

**「わかりやすい授業」をめざして  
ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れた授業の取り組み(令和6年度1学期)**

本校では、「わかりやすい授業」をめざして、すべての教員がすべての授業でユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業を行っています。

ユニバーサルデザイン(UD)の視点を取り入れた授業とは、発達障害のある生徒には「ないと困る」支援を行うことですが、どの生徒にも「あると便利な」支援を行うことです。

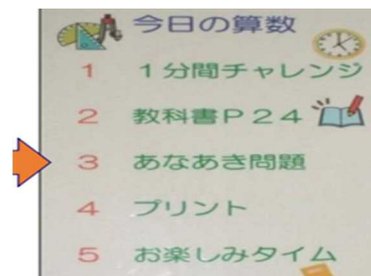
令和6年度も昨年度と引き続き、授業で次の6つを行ってください。

- (1) **タイムタイマーを使う**  
[目的]時間の視覚化により、生徒の「見通しのつきやすさ」につなげます。
- (2) **黒板を区切る**  
[目的]生徒の「整理のしやすさ」につなげ、ノートをとりをやすくします。
- (3) **黒板に「本時の流れ(ねらいと項目)」を書く**  
[目的]「明確な指示」により、生徒が「何を学んでいるのか」という理解につなげます。
- (4) **「聞く」「書く」の活動を分ける**  
[目的]学習活動を分けることで、生徒が授業をよく理解しやすくなります。
- (5) **「名前を呼ぶ」+「指示」「発問」「ほめる」etc**  
[目的]名前を呼ぶことで生徒の注意を促し、生徒自身が教員の指示を集中して聞くことで信頼関係を築くことができます。
- (6) **机間巡視を行い、生徒の近くに行き様子を見る**  
[目的]生徒に近づき教材を指さしするなど※して、生徒が具体的にどこをやっているか、何をすべきかに関して理解と行動を促します。※リーディングスリットを使うのも有効です



時間の視覚化

※時間がたつと赤い部分が減っていく

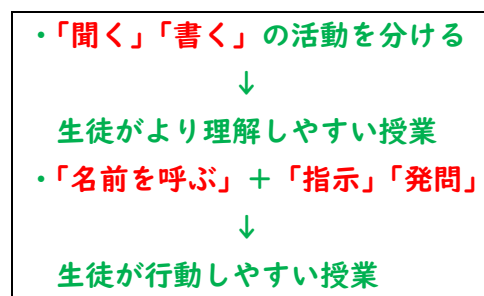


「本時の流れ」の明示(例)



黒板を区切る

※ノートがとりやすくなります



生徒の理解と行動を促します